

## 【特許検索競技大会 2026 における Web サービスの利用について】

本大会は、できる限り公平な環境で設問に取り組んでいただくことで、各参加者に対し、特許調査の実務能力を客観的に把握していただき、スキルアップにつなげていただくことを目的としております。

近年の AI 技術の発展、調査実務における AI 技術の重要性が高まっていることを踏まえ、特許検索競技大会 2026 における対話型 AI チャットサービスを含む各種 Web サービスの利用可否について以下のとおりといたします。

なお、AI 技術をはじめとして、特許調査の環境は大きく変化していくことが予測されます。来年度以降の特許検索競技大会における各種 Web サービスの取り扱いについては、その変化を踏まえ、今年度の運用から変更となる可能性があることをご了承ください。

■以下の Web サービスは、特許検索競技大会 2026 で利用可能です。

①無料検索エンジン

ログイン（サインイン）の有無は問いません。

ログインあり・ログインなしのいずれについても利用を認めます。

例：Google、Bing、Yahoo!等

②以下の対話型 AI チャットサービス

ログイン（サインイン）の有無は問いません。

下記の対話型 AI チャットサービスについて、ログインあり・ログイン無しのいずれについても利用を認めます。

なお、下記以外の対話型 AI チャットサービスの利用は認めません。利用すると不正行為とみなしますので、注意してください。

- ・ ChatGPT
- ・ Gemini
- ・ NotebookLM
- ・ Claude
- ・ Copilot
- ・ Grok
- ・ Perplexity

※上記①において自動的に生成されるものも利用可能です。

例：Google 検索における Gemini による要約、Bing 検索における Microsoft Copilot の利用等

■ 禁止事項

※上記記載の利用可能な対話型 AI チャットサービス以外の利用は認めません。利用すると不正行為とみなしますので、注意してください。

※個人又は社内で、エージェントやプロジェクト等を事前に作成・準備することは認めません。また、作成・準備したものの大会当日の利用は認めません。

■ 補足・注意点

問題に解答をする際は必ずご自身で考えて解答をし、解答を記述する場合はご自身の言葉で再構成・記述してください。

利用した対話型 AI チャットサービスについては、解答ファイルの書誌事項シート「利用した対話型 AI チャットサービス」欄にレ点でチェックをしてください。

上記①②の利用可能 Web サービスについては、その利用の有無によって、成績及び評価結果への影響はありません。